MITSUBISHI

1304875HH0001

エアフロー環気システム〈壁排気タイプ〉

コントローラユニット

形 名 P-01CND4

センサー付排気ファン（パイプ用ファン）

形 名 V-08PND7 **〈角形格子グリルタイプ〉**
V-08PXND7 **〈インテリアパネルタイプ〉**

取扱説明書

お客様用

お客様自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません）

- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。なお、ご使用の前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
  This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
  No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	**●可燃性ガスが漏れた場合はコントローラ本体のスイッチの入・切をしない** 電気接点の火花により爆発する原因 窓を開けて換気してください
分解禁止	**●改造や工具を必要とする分解はしない** 火災・感電・けがの原因 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客様ご相談窓口にご相談ください。
水ぬれ禁止	**●製品を水につけたり、水、かび取剤などをかけたりしない** 火災や感電の原因
指示に従う	**●交流 100V を使用する** 直流や交流 200V を使用すると感電や回路基板破損の原因 **●浴室など湿気の多い所に据付けられていないか確認する** 火災や感電の原因 **●お手入れの際は必ず運転を停止し、分電盤ブレーカーを切る** 感電やけがの原因 **●異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して分電盤ブレーカーを切る** 異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因

⚠注意

誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	**●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない** 本体・部品の落下によるけがの原因 **●高温（40℃以上）になる場所や直接炎が当たったり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所では使用しない** 火災の原因
接触禁止	**●運転中は、本体内部で羽根が回っているため、指や物を入れない** けがの原因
指示に従う	**●コントローラユニットが壁に（天井据付専用）、センサー付排気ファンが天井に（壁据付専用）据付けられていないか確認する** 故障、落下によりけがの原因 **●お手入れの際は手袋を着用する** 着用しないとけがの原因 **●お手入れ後の部品の据付けは確実に行う** 落下によりけがの原因 **●長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る** 絶縁劣化により感電や漏電火災の原因 **●センサー付排気ファンの先端には、雨水、雪、小動物（こうもり等）が侵入しにくい屋外フードが取付けてあるか確認する** 雨水の浸入により感電・火災や家財等を濡らす原因 **●電気工事は必ず電気工事店に依頼する** 感電の原因 **●お手入れの際は足元が不安定な台に乗らない** 転倒などによりけがの原因

もくじ

安全のために必ず守ること……1
エアフロー環気システムとは……2
エアフロー環気システム例……2～3
使用前のお願い……3
各部のなまえ……3
使用方法……4～5
お手入れのしかた……6
修理を依頼される前に……7
仕様……7
アフターサービス……8

エアフロー環気システムとは

コントローラユニットの制御機構により必要な換気風量を一定に保つ機能を備えており、各製品の組合わせにより、住宅の 24 時間換気を行うシステムです。

〈住宅の 24 時間風量換気とは〉

建材や家具から発生するホルムアルデヒド等の化学物質、居室の中に発生する汚染物質や臭気の濃度を低減するため必要換気風量で 24 時間換気を行います。ただし、24 時間換気を効果的に行うには居室に専用給気ユニットの設置による空気の流通経路の確保が必要です。

〈システムの特長〉

①定風量機能で過不足のない換気（排気）が実現できます。
②小風量換気で省エネ・低騒音運転ができます。
③ 24 時間風量換気システムは標準的な設置では約 28W（4LDK で風量設定 45m^3/h の場合）の消費電力で居室・浴室・トイレ・洗面所などの換気ができます。
④季節に応じて 24 時間換気の風量切換（強・弱）が可能です。
⑤浴室は入浴中の一時停止、入浴後の急速運転が可能です。

〈システムの効果〉

①住宅内の湿気を排出し、結露を防止してカビ・ダニの発生を抑制します。
②建材や家具から発生されシックハウス症候群で問題となっているホルムアルデヒド等の化学物質の濃度を低減し、給気ユニットから新鮮な空気を取入れます。
③居室の中に発生する炭酸ガスなどの汚染物質や臭気を排出し、新鮮な空気を取入れ空気のよどみを解消します。

〈定風量機能とは〉

換気する風量を一定に保ちます。外風等の影響により風量が変化した時、風量を一定にするためにモーターパワーが変動します。モーターパワーの変動による騒音が気になる場合は定風量運転を解除してモーターパワーを変えないで運転することができます。

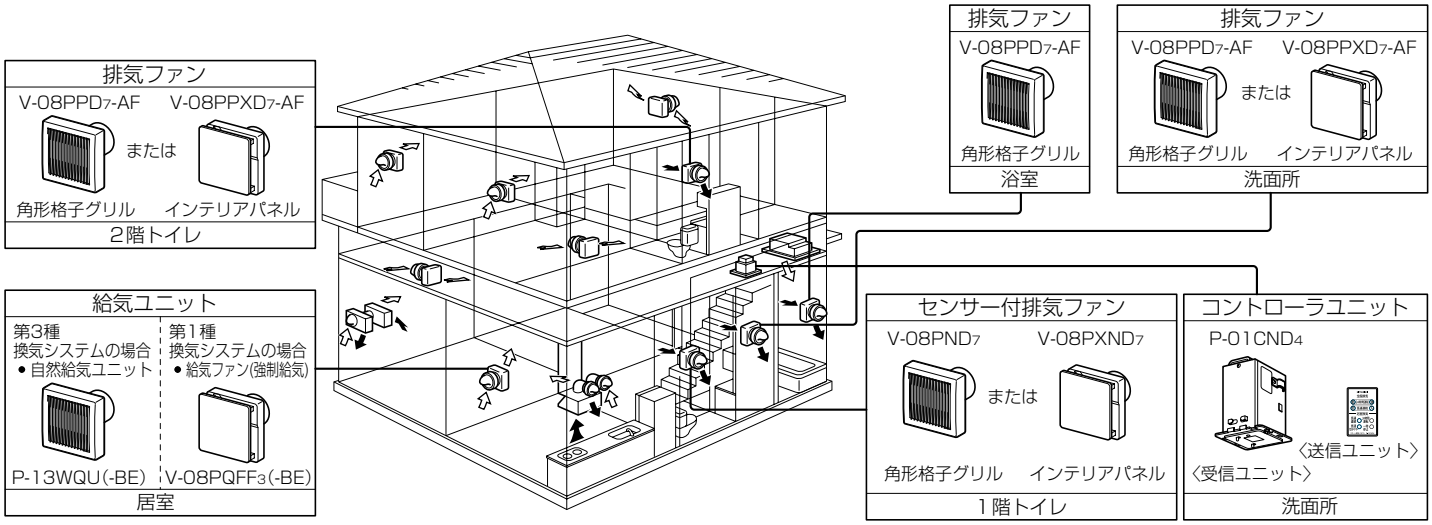
エアフロー環気システム例

■システム構成

住宅の各部屋に換気扇（給気ユニットと排気ファン）を設置して空気の入口と出口を明確にし、24 時間運転することにより住宅内で発生する汚染物質の濃度を低減します。
浴室の使用後には排気ファンを「急速」運転にして発生する湿気や臭気を速やかに排出します。

■住宅内の風の流れ

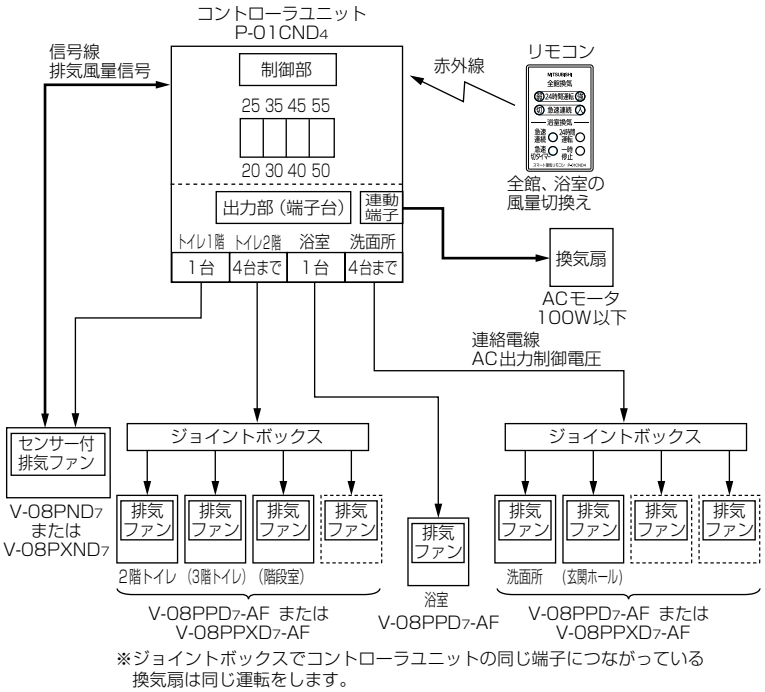
居室に設置された給気ユニットから外気を取り入れ、廊下を経由して浴室、洗面所、トイレなどから排気します。
住宅全体に風を流すため各部屋には通気用ドア下部のすきまなどが必要となります。



■コントローラユニットとセンサー付排気ファンの働き

24 時間運転時、コントローラユニット（P-01CND4）は、センサー付排気ファン（V-08PND7 または V-08PXND7）との組合せにより常に設定された風量で換気運転するよう制御します。
その他の排気ファンもセンサー付排気ファンと連動して、ほぼ同等の風量で運転します。
浴室使用時にはリモコン（送信ユニット）の操作により浴室の排気ファンを「一時停止」または「急速」運転します。
コントローラユニットは、排気ファンだけを制御し、給気ユニットは個々に 24 時間連続換気をします。

エアフロー環気システム例　つづき



※ジョイントボックスでコントローラユニットの同じ端子につながっている
換気扇は同じ運転をします。

ご使用シーン	夏・中間期		→	冬期	
リモコン操作	24 時間換気「強」			24 時間換気「弱」	
各用途設定風量	浴室	※1 30		浴室	24
	洗面所	※1 30		洗面所	24
	1F トイレ	※1 30		1F トイレ	24
	2F トイレ	※1 30		2F トイレ	24
	合計風量	120		合計風量	96

ご使用シーン	入浴後浴室の風量アップ			全室の風量アップ ※2	
リモコン操作	浴室換気「急速連続」「急速切タイマー」			急速連続「入」	
各用途設定風量	浴室	70		浴室	70
	洗面所	※3 27		洗面所	70
	1F トイレ	※3 27		1F トイレ	50
	2F トイレ	※3 27		2F トイレ	70
	合計風量	151		合計風量	260

※1：24 時間換気風量は 20、25、30、35、40、45、50、55m^3/h に設定変更できます。（部屋ごとの変更はできません）
※2：連動端子に換気扇が接続されている場合、換気扇も運転します。
※3：浴室換気「急速」運転時は、住宅全体の換気量が増えすぎないように他の排気ファンの風量を少し減らして運転します。

お願い
- 排気ファン（V-08PPD7-AF、V-08PPXD7-AF）は、センサー付排気ファン（V-08PND7、V-08PXND7）と連動して、ほぼ同等の風量で運転します。コントローラユニット（P-01CND4）の風量設定を目安としてください。
- 専用排気ファン以外は、コントローラユニットにご使用できません。（異常音発生の原因）

使用前のお願い

■建築基準法において必要とされる換気量を満たす 24 時間換気対応品ですので、下記の場合以外運転を停止しないでください。（停止後は運転を再開してください）
- 吹雪や台風など、雪や風、雨の強いとき
- 霧の多いとき
- 清掃・点検時
- 長期不在時

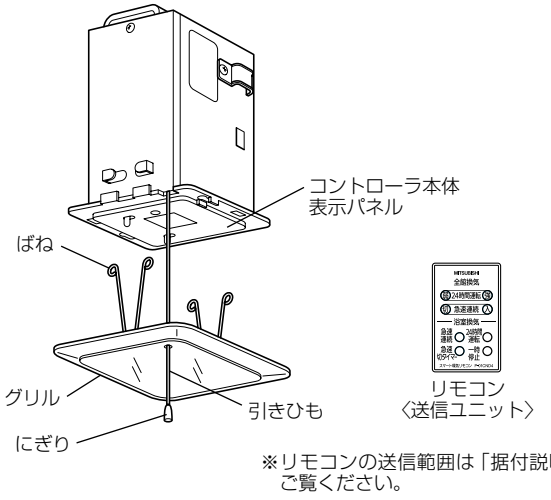
■換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤など頻繁に使用しないでください。（故障の原因）

■リモコンを落としたり、強い衝撃で送信部を傷つけないでください。（故障の原因）

■リモコンとコントローラユニット本体の間に物を置かないでください。運転操作ができません。また、次のような場所もリモコン操作ができないことがあります。
- 本体受信部とリモコンの間に障害物があるところ
- インバーター照明器具または電子瞬時点灯照明器具を使用しているところ
- 本体の受信部に直射日光等の強い光が当たるところ
- テレビの近くなど電磁波の影響を受けやすいところ

各部のなまえ

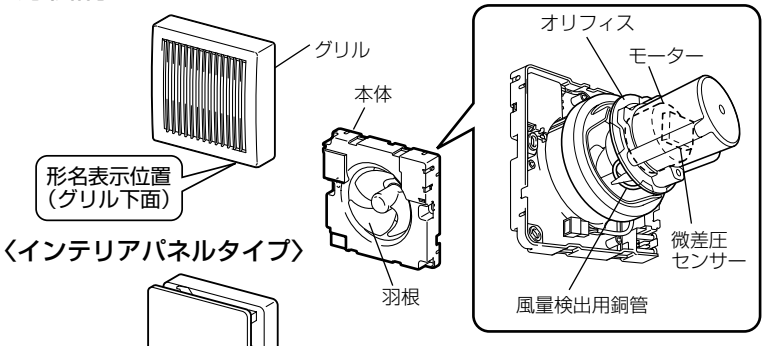
P-01CND4



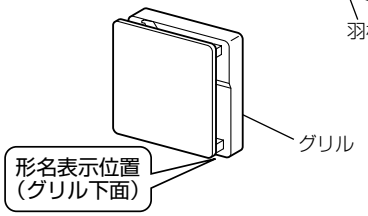
※リモコンの送信範囲は「据付説明書」をご覧ください。

V-08PND7 および V-08PXND7

〈角形格子グリルタイプ〉



〈インテリアパネルタイプ〉



使用方法

■この製品は 24 時間換気専用です。長期不在時や点検・修理・お手入れ時などを除き、常時運転してください。
■各排気ファンは定風量機能により、常に設定された風量を換気するように運転します。

リモコン（送信ユニット）の使い方と機能

全館換気

夏期などに熱気や臭いを急速排気したい

急速連続

通常は「切」運転
急速排気時は「入」運転

コントローラに接続されている全ての排気ファンをフルパワーで運転。

また、「連動ファン」を接続することで急速排気効果をいっそう早めます。

ご注意

- 急速連続「入」状態では、他のモードへの切換え操作は無効となります。急速連続「切」にしてから操作してください。

冬期に風量を抑えたい

24時間運転

通常は「強」運転
冬期は「弱」運転

建築基準法による冬期換気量低減措置に対応し、換気量を軽減。
快適・節電します。

浴室換気

浴室換気を24時間換気風量したい

24時間運転

浴室の **急速連続** **急速切タイマー** または **一時停止** を中止し、24時間運転にします。

浴室換気ボタン操作前の【全館換気】設定状態に戻ります。

入浴後にすばやく換気したい

急速連続 または **急速切タイマー**

入浴後などに浴室のみを急速運転し、湿気を急速排気。カビなどの発生を抑えます。

表示パネルの「浴室急速切タイマー」つまみの設定により切タイマー時間を「1・2・3・4・5時間」の5段階で変更することができます。
（工場出荷時は3時間）

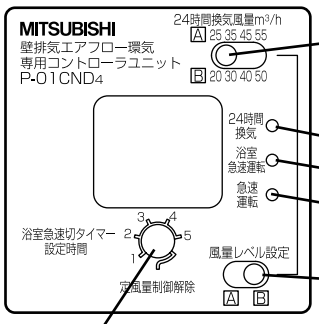
入浴中に風量を抑えたい

一時停止

浴室の換気を一時停止し、冬期入浴中の肌寒さを緩和します。

操作から1時間経過後、自動的に【全館換気】の24時間運転に戻ります。

コントローラ本体　表示パネル



【24時間換気風量】設定スイッチ
24時間換気風量「強」を設定します。
※「弱」風量は「強」風量の設定により決まります。

確認ランプ
運転状態を表示します。
青【24時間換気】
緑【浴室急速運転】
赤【急速運転】

【風量レベル設定】スイッチ
24時間換気風量設定スイッチと組み合わせて、24時間換気風量「強」を設定します。

風量レベル設定	設定風量			
A	25	35	45	55
B	20	30	40	50

【浴室急速切タイマー設定時間】つまみ
浴室急速切タイマーの設定と定風量制御解除を切換えます。
定風量制御解除につまみを合わせると
浴室急速切タイマーは3時間固定となります。

メモ

- 定風量モードで排気ファンの運転音の変化が気になる場合は、【浴室急速切タイマー設定時間】つまみを「定風量制御解除」位置に設定する（右側に「ピッ」と鳴るまで回す）ことで、騒音を低減することができます。
- 住宅に関する適切な換気量を確保するために、風量設定は変更しないでください。換気量については、据付けを行った販売店または工事店にご確認ください。
- 24 時間運転において“コントローラユニットの風量設定値を大きくする”、“外風が強い”などの条件により急速運転との風量差が小さくなり、騒音が高くなることがあります。
- リモコンは、後押しボタンが優先となります。運転状態を変更したいときに、希望する運転モードの操作ボタンを押してください。
- 【全館換気】急速連続 が「入」の状態では、24 時間運転 および【浴室換気】の操作は無効となります。
  他のモードへ切り替える場合は、【全館換気】急速連続 を「切」にしてから操作してください。
  （動作を受け付けなかった場合「ピピッ」と音がします）
- 【浴室換気】急速連続 または 急速切タイマー または 一時停止 の状態では、【全館換気】24 時間運転「強 / 弱」を押しても【浴室換気】は 24 時間運転 に切り換わりません。【浴室換気】の 24 時間運転 を押してください。

《運転状態の確認》

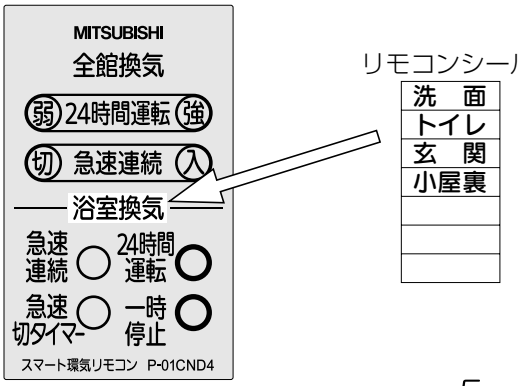
○ 点灯、◌ ゆっくり点滅、-☼- 速い点滅、-●- 一時消灯、● 消灯※1

表示（確認ランプ）状態			換気扇の状態			連動ファン出力	運転状態	
24 時間換気 “青”	浴室急速運転 “緑”	急速運転 “赤”	トイレ	浴　室	洗　面			
●	●	●	停　止			切	引きひもスイッチを引き電源を入れてください。	
●	●	●	急速	急速	急速	切	初期設定中 少しお待ちください。	
換気扇の運転状態を表示		-☼-	エラー			–	「修理を依頼される前に」をご覧ください。	
○	●	●	強	強	強	切	24 時間運転	強
◌	●	●	弱	弱	弱			弱
操作前の 24 時間運転の「表示」および「換気扇の状態」となります							急速連続	切
●	○	○	急速	急速	急速	入		入※2
○ または ◌	○	●	強または弱	急速	強または弱	切	急速連続	
○ または ◌	-●-	●	強または弱	急速	強または弱		急速切タイマー	
○ または ◌	◌	●	強または弱	停止	強または弱		一時停止	
【浴室換気】ボタンを操作する前の 24 時間運転の「表示」および「換気扇の状態」となります							24 時間運転	

※1　◌ ゆっくり点滅：2 秒間隔 ／ -☼- 速い点滅：0.5 秒間隔 ／ -●- 一時消灯：3.5 秒点灯、0.5 秒消灯

※2　急速連続「入」状態では、他のモードへの切換操作は無効となります。急速連続「切」にしてから操作してください。

メモ ●【浴室換気】用の排気ファンが他の部屋に据付けられている場合、リモコンシールが貼り付けられています。
部屋の表示は変わりますが機能は変わりません。



お手入れのしかた

⚠警告

- お手入れの際は必ず運転を停止し、分電盤ブレーカーを切る
  感電やけがの原因

⚠注意

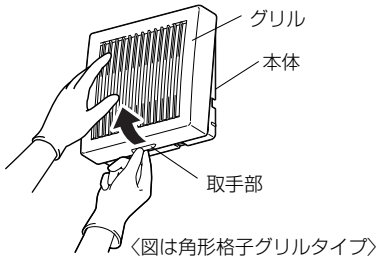
- お手入れの際は手袋を着用する　着用しないとけがの原因
- お手入れの際は足元が不安定な状態で部品の着脱を行わないでください
  転倒などによりけがの原因
- お手入れ後の部品の取付けは確実に行う　落下によりけがの原因

お願い
- 製品の清掃には中性洗剤を使用してください。
- 中性洗剤で清掃した後は、中性洗剤が残らないように拭き取ってください。
- 下記の溶剤や洗剤、掃除用具で清掃しないでください。製品表面に傷つきや変色、割れが発生する原因。
  ・シンナー、アルコール、ベンジンなどの溶剤　・ガソリン、灯油　・カビ取り洗剤　・柑橘系などの植物系洗剤
  ・化学ぞうきんの薬品　・クレンザーなどのけんま材入り洗剤　・消毒液　・酸性、アルカリ性、塩素系洗剤
  ・スプレー　・殺菌剤　・消毒剤など
- 長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検をお願いします。
  （本説明書末尾「愛情点検」参照）

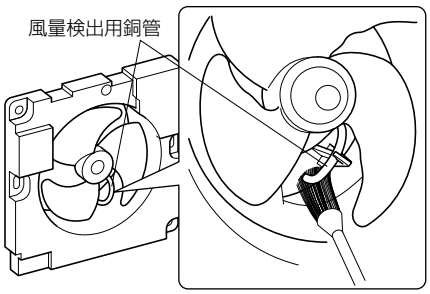
排気ファン（V-08PND7またはV-08PXND7）の清掃

グリル、羽根、風量検出用銅管にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。約４か月に１度を目安に清掃してください。

お願い
- お手入れの際、羽根に衝撃を与えたり、モーターの軸に無理な力をかけないでください。（異常音発生の原因）
- 風量検出用銅管を変形させたり、先端にごみがつまらないようにしてください。（風量検出不良の原因）



〈図は角形格子グリルタイプ〉



清掃部品をはずす

グリルの取手部を手前に引きながら斜めに持ち上げてはずします。
- 本体からグリルをはずす際、正面を支えながらはずしてください。
  （落下によるけが、部品破損の原因）

清掃する

1. グリルを中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸して汚れを落としてからきれいな水で洗い、よく乾かします。
2. 羽根、本体は中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふきます。
3. 風量検出用銅管の先端に付着したほこり等を柔らかい筆などで取り除きます。

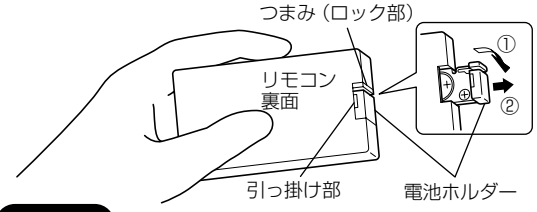
お手入れ後、清掃部品を取付ける

1. 部品の取付けは、取りはずしと逆の順序で行います。
2. 部品を取付けた後、次の確認をしてください。
   （1）グリルが確実に取付けられている。
   （2）異常な音が出ていない（必ず運転をして確認してください）

コントローラユニット（P-01CND4）の清掃

コントローラ本体の表示パネルやリモコンの汚れが目立つようになったらぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼってふき、さらに乾いた柔らかい布で洗剤が残らないようふき取ってください。

リモコンの電池交換のしかた



1. リモコン裏面の電池ホルダーの“つまみ（ロック部）”を①の方向に押しながら“引っ掛け部”に爪を掛け、②の方向へ引き抜きます。
2. 古い電池をはずし、新しい電池を電池ホルダーにセットし、元通りリモコンにセットします。

コイン型リチウム電池　CR2025　１個（市販品）

お願い
- リモコンは絶対に水につけないでください。
- リモコンは直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置しないでください。
  本体の変形や、電池の液漏れなど故障の原因となります。
- 電池の“＋”“－”は正しく入れてください。（“＋”がリモコン裏面側になります）
- 電池ホルダーの取扱いはていねいに行ってください。
- 電池は必ずホルダーにのせてから差し込んでください。
- 指定以外の電池は入れないでください。
- リモコンの感度が悪くなった場合は、新しい電池に交換してください。（交換目安：１年）

修理を依頼される前に

下記のような症状があれば点検してください。
点検・処置をしても直らない場合は、電源を切って必ず販売店に点検・修理をご依頼ください。費用については販売店とご相談ください。

症　　状	原　　因	処　　置
リモコンのボタンを押しても運転しない	●コントローラユニット（P-01CND4）の引きひもスイッチが“切”になっている。	引きひもスイッチを“入”にする。
	●リモコンの電池が消耗している。または、電池の極性が逆である。	電池を交換または極性を正しく入れ換える。
	●ヒューズ・ブレーカーが切れている。または停電である。	点検・処置をする。
	●リモコンの位置・向きが適切でない。	リモコンの位置・向きを変える。
運転中に異常音や振動がある	●グリルが本体に確実に固定されていない。 ●本体の取付ねじがゆるくなっている。	●固定する。 ●ねじを締める。
	●羽根、グリルにほこり、異物が付着している。 ●指定排気ファン（V-08PPD7-AF または V-08PPXD7-AF）以外が据付けられている。	●清掃します。 ●販売店または工事店へご相談ください。
グリルがはずれかけている（傾いている）	●グリルのバネに不具合がある。（P-01CND4）	バネを確実に本体の引掛部に差し込む。
換気扇の 24 時間連続運転時に急速運転のような運転をしている（24 時間運転にならない）	●外風が強い。定風量制御機構により羽根の回転数が上昇します。	そのままお使いください。 気になる場合は、定風量制御解除してください。（4、5 ページ参照）
	●レンジフード等、大風量の換気扇が動いている。室内が負圧になると、羽根の回転数が上昇します。	
	● 24 時間運転の風量設定が高い場合（例 55m3/h）、急速運転との風量差が少なくなります。	住宅全体の必要換気量を確認のうえ、24 時間風量設定を変更してください。 ● 24 時間換気風量の設定つまみの設定を低くする。 ●定風量制御解除する。（4、5 ページ参照）
	●フードにほこりが付着し目詰りしている。	お買い上げの販売店に点検・清掃をご依頼ください。
	●センサー付排気ファンの風量検出銅管にほこりが付着している。	清掃します。
羽根が逆回転する、回転が遅い、回転が不規則	●外風の影響を受けている可能性があります。	●静観し、無風の状態で再度確認してください。
モーターの回転が安定していない	●モーターの回転をコントロールしているためです。 （例）・外風が強い ・レンジフードなどで室内が負圧になっている。	異常ではありません。 そのままお使いください。
表示パネルの“赤色ランプ”が点滅している	信号線がセンサー付排気ファン（V-08PND7 または V-08PXND7）またはコントローラユニット（P-01CND4）からはずれている。	給気口を確保して、下記状態で確認しても“赤色ランプ”が点滅している場合は、お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。 ●レンジフードを切る。 ●無風の状態で確認する。
	給気口が塞がり給気不足になっている、外風が強い、レンジフード等、大風量の換気扇が動いている。	
焦げ臭いにおいがする	故障です。 運転を停止し、ブレーカーを切ってください。	お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

●モーターの軸受けは時間が経つにつれ、回転がなじんで音が変化することがありますが異常ではありません。

仕　様

電源電圧 AC100V 50/60Hz

形名	設定風量（m3/h）		20	25	30	35	40	45	50	55	急速	質量（kg）
V-08PND7	消費電力（W）	50Hz	3	3.4	3.9	4.3	4.5	4.7	4.8	5	5.9	0.56
		60Hz	2.9	3.3	3.7	4.3	4.6	5	5.1	5.3	6.3	
	騒音（dB）		18	21	26	30	31.5	33	34	35	35	
V-08PXND7	消費電力（W）	50Hz	3.3	3.7	4.2	4.8	5	5.2	5.4	5.4	6.3	0.66
		60Hz	3.2	3.7	4.1	5	5.3	5.6	5.8	6	7	
	騒音（dB）		18	21	26	30	31.5	33	34	35	35	

※センサー付排気ファンの消費電力は、P-01CND4 を組み合わせた時の値。　※特性は JIS C9603 に基づく。

アフターサービス

三菱エアフロー環気システムのアフターサービスは、お買い上げの販売店かお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。
長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。モーターは消耗部品です。

MITSUBISHI　三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内（住宅用換気送風機）

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は、**各窓口** へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口　住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法　受付時間365日24時間

●三菱電機換気送風機技術相談センター
フリーダイヤル
0120-726-471（無料）
携帯電話・PHS・IP電話対応
三菱電機株式会社 中津川製作所
〒508-8666　岐阜県中津川市駒場町1番3号　FAX (0573) 66-5659（有料）

■ご相談対応　平日 9：00～12：00　13：00～19：00
（土・日・祝及び弊社休日以外）
■上記時間帯以外のご相談（受付のみ）
●三菱電機お客さま相談センター
フリーコール　**0120-139-365**（無料）
いつも サンキュー 365日

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
三菱電機お客さま相談センター	TEL (03)3414-9655（有料）

修理窓口　住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼　受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター
フリーダイヤル
0120-56-8634（無料）
インターネット
www.melsc.co.jp
携帯電話サイト
空メールの送り先：**fc8634@melsc.jp**
またはバーコードからアクセス。
URLをメール返信します。

携帯電話・PHS・IP電話の場合		
北海道・東北 関東甲信越	東日本 修理受付センター FAX (03) 3424-1115（有料）	(03) 3424-1111（有料）
東海・北陸・関西 中国・四国・九州	西日本 修理受付センター FAX (06) 6454-3900（有料）	(06) 6454-3901（有料）

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。
●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

S11A

■補修用性能部品の保有期間
当社はこの換気扇の補修用性能部品を製造打切り後６年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

長期使用製品安全表示制度に基づく換気扇本体表示について

〔本体への表示内容〕
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

〔設計上の標準使用期間とは〕
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件（右表による）に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
●本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

⚠ 【製造年】本体に西暦４ケタで表示してあります
【設計上の標準使用期間】15年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件　JIS C 9921-2による

環境条件	電　圧	単相 100V	定格電圧による
	周波数	50Hzおよび60Hz	
	温　度	20℃	JIS C 9603から引用
	湿　度	65%	
	設置条件	標準設置	据付説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書（本書）による
想定時間	1年間の使用時間	24時間換気 8760時間/年	

愛情点検　☆長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。	●スイッチを入れても羽根が回転しない。 ●運転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅いまたは不規則。（モーターはメンテナンスが必要な部品です） ●こげ臭いにおいがする。 ●本体取付部に腐食、破損等がある。	▶ 使用中止	故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検、修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ サービスを依頼されるとき便利です。		
	形　名	
	お買上げ年月日	年　月　日
	お買上げ店名 （住　所） （電話番号）	（　　）＿＿＿＿＿＿＿＿

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
（材質名は主材料にISO規定の略号を使用）

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町１番３号

この説明書は、再生紙を使用しています。